

平成31年度北海道大学大学院国際食資源学院

博士後期課程 学生募集要項 (外国人留学生特別選抜)

◆ 大学院国際食資源学院の教育目標 ◆

本学院では、世界が直面する多様かつ重層的な食資源問題を理解し、具体的な解決策を提示・実践できる国際的リーダーを養成する。そのため、先端的、学際的かつ総合的な文理融合型の教育研究を実施し、世界の食資源問題を俯瞰的にとらえることのできる幅広い知識と、問題解決を実践できる専門性を兼ね備えた人材を輩出することを教育目標とする。

◆ アドミッション・ポリシー ◆

本学の4つの基本理念「フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視」の下で本学院では以下のような動機と資質、目標を有する入学志望者を求める。

○入学動機

- 修士で培った洞察力と俯瞰力を持って先端研究に取り組みたい
- 国内外の現場で自ら問題発見しこれと主体的に取り組みたい
- 国内外の教員の指導を受けながら、自らが問題解決に当たりたい
- 研究成果を論文化するだけでなく現場に応用したい
- 研究成果を実践する際には自らリーダーシップを発揮したい

○入学志望者に求める資質

- 地球規模の広い視野と地域社会への深い関心がある
- 食水土資源の問題群に取り組む十分な知識背景と、基礎的なコミュニケーション力・英語力がある
- 国内外の食資源現場に滞在し、自ら問題発見する力がある
- 研究成果を地域の問題解決へ還元する力がある
- 地域社会や国際社会でチームワークをリードできる力がある

○入学時の目標

論文を書くだけの研究者ではなく、研究成果に基づいて新たな企画提案を自ら構築し、それをもとに現地での実践活動においても食資源の専門家として遺憾なく能力を発揮できる人材を目指す。すなわち、修士課程より更に進んだ問題発見力を文理融合教育で培い、これに加えて世界を俯瞰できる国際性を備え、何が最も必要かを見抜ける卓越した力を求める。次いで、修士課程で取得した様々な問題解決力を研ぎ澄まし、自ら発見した問題に最適の答えを得ることのできる道筋を見通す能力を一層高める。そして、これらを広い世界の知性と議論できるコミュニケーション能力と問題提案力を備え、しかしそれだけではなく、究極的には自らの研究成果を地域や現場で実際に組み込んで、チームを率いて問題解決する実践力を具備することを目指す。

1. 募集人員

国際食資源学専攻……………若干名

2. 入学者選抜方法

- (1) 予備審査：出願書類により志願者の資格審査を行う。
- (2) 入学者選抜：出願資格を有する志願者に対し、入学願書、成績証明書等の出願書類の内容及びメールインタビュー並びにスカイプ等を用いた面談の結果を総合して決定する。

3. 出願資格

3-1. 基礎資格：

日本国内に居住せず、入学試験を受験するために来日することが困難な者であり、次のいずれかに該当すること。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成31年3月までに授与見込みの者
- (2) 外国の大学において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与見込みの者
- (6) 外国の学校、(5)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び平成31年3月までに認められる見込みの者（以下「外国の大学において基礎力審査に相当するものに合格した者」という。）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに24歳に達する者
* 高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国大学日本分校・外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者

[注] 上記出願資格(6)・(7)・(8)により出願する者については、事前審査を実施するので、平成30年9月28日（金）から平成30年10月4日（木）までに次の書類を提出すること。

(6)の場合・・・「入学資格審査申込書」、「博士論文研究基礎力審査合格証明書」

(7)・(8)の場合・・・「入学資格審査申込書」、「研究歴証明書」、「研究業績目録」、「所属機関長等の「推薦書」又はこれに代わるもの」

【「入学資格審査申込書」・「研究歴証明書」・「研究業績目録」については所定の用紙があるので請求すること。】

3-2. 要件：次に掲げる要件に該当すること。

- 最終学歴の学業成績係数（3点満点）が2.30以上の者
 なお、最終学歴の学業成績係数（3点満点）が不明の者は北海道大学大学院国際食資源学院（kyomu@agr.hokudai.ac.jp）に問い合わせること。

算出方法
 例示

5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\text{学業成績係数} = \{ (\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0) \} \div \text{総登録単位数}$$

4. 出願書類

所定の様式は、本学院ホームページ（入試情報）よりダウンロードすること。

<http://www.gfr.hokudai.ac.jp/ja/admission-information/application-guidelines/>

<input type="checkbox"/>	入学願書	所定の用紙によること。 所定の欄に写真（出願前3か月以内撮影。上半身正面脱帽）を貼付すること。
<input type="checkbox"/>	志望理由書	所定の用紙によること。また、事前に教員と連絡を取り記入すること。本学院を志望する理由を、入学後に興味のある研究分野および博士後期課程修了後の希望進路との関係とともに記入すること。
<input type="checkbox"/>	成績証明書（GPAを記したもの）	出身大学院等の長が発行するもの。（英文又は和文に限る。） 本学院修了者は提出不要。
<input type="checkbox"/>	修士課程修了（見込）証明書	出身大学院等の長が発行するもの。（英文又は和文に限る。） 本学院修了者は提出不要。
<input type="checkbox"/>	修士課程における研究内容の要旨	図表も含めA4用紙2枚以内で作成。英文に限る。（様式任意）
<input type="checkbox"/>	推薦書	出身大学の教授相当職以上が記入したもの。 本学院修了者は提出不要。
<input type="checkbox"/>	英語能力証明書（TOEFL, TOEICの公式認定証の写しなど）	以下の①②③のうち、いずれか1つ。 本学国際食資源学院修了者は不要。 ①TOEFL-iBTまたはTOEFL-PBTのExaminee Score Reportの写し ②TOEIC Listening & Reading公開テストのOfficial Score Certificateの写し ③出身大学の英語教員による英語能力証明書（所定の用紙に記入して提出すること。） ※TOEFL-ITP, TOEIC-IP, TOEIC Speaking & Writing Tests, TOEIC Speaking Test及びTOEIC Bridge Testは認められない。
<input type="checkbox"/>	履歴書	所定の用紙に記入して提出すること。
<input type="checkbox"/>	国籍を証明できるもの	住民票又はパスポートの写し等を提出すること。

※志願者は、事前に指導を希望する教員と入学後の学修について相談のうえで出願書類を提出すること。

5. 予備審査の出願期間

4. の書類を平成30年9月28日（金）から平成30年10月4日（木）【**必着**】までに提出すること。【土・日・祝日を除く】

郵送の場合は、封筒に「外国人特別選抜入学願書在中」と朱書し、簡易書留で送付すること。（上記予備審査出願期間必着）なお、海外から出願の場合は航空郵便書留若しくは書留郵便で送付すること。

提出先：北海道大学農学・食資源学事務部 教務・学生担当 〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

※提出された書類は返還しない。

6. 出願（検定料の納入）期間

予備審査に合格した者は、出願期間中に検定料を納入することにより出願を行うこと。

(1) 出願（検定料の納入）期間：平成30年10月17日（水）から平成30年10月23日（火）【**必着**】まで。受理は午前9時から午後5時までとする。

(2) 検定料 30,000 円（出願期間中にインターネット出願（検定料の納入）サイトを通じて支払うこと。予備審査合格者に出願サイトの利用方法を個別に案内する。）

※国費外国人留学生、中国政府派遣留学生及び総長奨励金留学生は、検定料の払込を要しない。

※インターネット出願（検定料の納入）には、検定料のほかに500円の事務手数料が必要となる。

※既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる場合があっても返還しない。

- ①検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③検定料の納付を要しない者が払い込んだ場合

7. 試験期間及び試験内容

(1) 試験期間：平成30年10月26日（金）から平成30年11月21日（水）まで

(2) 試験内容：メールインタビュー及びスカイプ等を用いた面談

※ スカイプ等を用いた面談は、本学が指定する時間に、音声・画像ともに良好な状況で通信可能な環境を確保すること。

8. 合格者発表

平成30年12月5日（水）午後4時（予定）。本人宛通知書を発送する。電話・メールによる可否の問い合わせには応じない。

9. 入学料及び授業料について

(1) 入学料：282,000 円

(2) 授業料：前期分 267,900 円（年額 535,800 円）

注) 上記の金額は予定額であり、入学時及び在学時に改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

10. 個人情報の取扱いについて

本学では、出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報は、入学者選抜及び合格発表並びに入学手続きを行うために利用する。また、同個人情報は、合格者のみ入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用する。

・個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である北海道大学体育会からの連絡を行うために利用する場合がある。

・なお、上記以外には利用しない。

平成30年9月

北海道大学大学院国際食資源学院
〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
電 話 011-706-4041, 2422
メールアドレス kyomu@agr.hokudai.ac.jp

国際食資源学院 担当教員一覧

平成30年4月1日

国際食資源学専攻

研究領域名	主担当教員名（専門分野）	
生産領域 Production	特任教授	川村 周 三※ Shuso Kawamura (食品加工工学) (Agricultural and Food Process Engineering)
	教授	曾根 輝 雄 Teruo Sone (応用微生物学) (Applied Microbiology)
		高橋 昌 志 Masashi Takahashi (家畜生殖生理学) (Animal Reproductive Physiology)
		山田 敏 彦 Toshihiko Yamada (作物生産科学) (Crop Production Science)
	准教授	武田 晴 治 Seiji Takeda (健康機能性食品) (Health Functional Foods)
	講 師	高牟禮 逸 朗 Itsuro Takamura (植物育種学) (Plant Breeding)
	助 教	高須賀 太 一 Taichi Takasuka (生化学, 微生物学, 蛋白質科学) (Biochemistry, Microbial Sciences, Protein Sciences)
環境領域 Environment	教授	井上 京 Takashi Inoue (水土管理学) (Land and Water Management)
	准教授	石井 一 暢 Kazunobu Ishii (生物生産応用工学) (Applied Bioproduction Engineering)
		内田 義 崇 Yoshitaka Uchida (環境生命地球化学) (Environmental Biogeochemistry)
		加藤 知 道 Tomomichi Kato (植物生態学・農業気象学) (Plant Ecology, Agricultural Meteorology)
		川口 俊 一 Toshikazu Kawaguchi (センサ工学, 環境修復学・環境科学) (Sensor Engineering, Environmental Mediation, Environmental Science)
	講 師	柏木 淳 一 Junichi Kashiwagi (土壌保全学) (Soil Conservation)
	助 教	グイザニ モクタル※ Guizani Mokhtar (土木工学・土木環境システム) (Water and wastewater)
社会領域 Governance	教授	久保田 肇 Hajime Kubota (数理経済学) (Mathematical Economics)
		松石 隆 Takashi Matsuishi (水産資源学) (Fish Stock Assessment)
	准教授	小林 国 之 Kuniyuki Kobayashi (地域連携経済学, 協同組合学) (Rural Development, Food Network and Cooperatives)
		鍋島 孝 子 Takako Nabeshima (農村政治学) (Political Science of Rural Community)
	講 師	齋藤 陽 子 Yoko Saito (農業経済学) (Agricultural Economics)

注)・※を付した教員は平成31年3月退職予定。

・希望した教員が指導教員にはならない可能性があります。

問合せ先 : kyomu@agr.hokudai.ac.jp

出願から合格発表まで

出願希望者は p. 12 に示した国際食資源学院担当教員のうち受け入れを希望する教員に連絡をとる。教員の連絡先は、E-mail (kyomu@agr.hokudai.ac.jp) で問い合わせのこと。各教員の研究分野は以下のウェブサイトでも閲覧可能。
<http://www.gfr.hokudai.ac.jp>

出願希望者は、願書をホームページからダウンロードする。
<http://www.gfr.hokudai.ac.jp/ja/admission-information/application-guidelines/>

出願希望者は農学・食資源学事務部教務・学生担当に出願書類を発送する。

出願希望者は出願書類による予備審査によって出願資格の有無を審査される。

予備審査の結果が発表される。

予備審査に合格した出願希望者は、検定料をインターネット出願（検定料の納入）サイトから納めることにより正式に出願する。

メールインタビュー及びスカイプ等を用いた面談によって審査される。

受験者に合否が通知される。

